

【川崎市市制 100 周年記念プレ事業】

未来のかわさをデザイン「こんなまちになったらいいな ♪」

市内公立保育園の園児が考える『100 年後の川崎』はどんな街？

市制 100 周年を記念する今年度は、市内企業の日本理化学工業株式会社さんにも御協力いただき、代表的な製品の「キットパス」をつかって取組みをすすめていきます。

「キットパス」はライスワックス（お米の油）で作られているため、小さいお子さんでも安心して使えるクレヨンのようなものです。柔らかな書き心地で筆圧の弱い子どもにも描きやすく発色が良いのが特徴です。しかも紙だけでなく、窓やビニール、布にも描くことができるのでキャンパスを選ばないのも、もう一つの特徴です。



今回は子ども達と「キットパス」の出会いをご紹介します！初めて見る色とりどりのキットパスに目を輝かせて「わぁ！きれい。」としばらく眺めている子。「トントンしても色が塗れる！」と繰り返し楽しむ子もいました。したり、本で調べたりと忙しそうです。





いつも「お絵描き NG」の机や窓も「お絵描き OK」となり多少戸惑いながらも書き始めると手が止まらない子ども達。



出来上がった地図をまじまじと見ながら「すごく綺麗な色の地図ができたね！」と満足気になっていたり、水を混ぜると絵の具のように使えることから「絵の具にも変身するんだね」「魔法のクレヨンみたい」と声があがったりもしました。



自由にお絵描きできる「キットパス号」も保育園に登場。白いキャンパス部分のみならず、タイヤのホイールやライトにまで子ども達の描いた素敵な絵でいっぱいになりました。

これからも「キットパス」と一緒に子ども達の考える「100 年後の川崎」をいろいろ表現していきます！
各園の取組はまた次回お伝えいたしますので楽しみに！

問合せ先

川崎市こども未来局 保育・子育て推進部
運営支援・人材育成担当